

私たち志議会議員一同は、本日、令和6年度こうち志議会を終えるにあたり、人と自然が共生し、未来に向かって持続的に発展できる、思いやりにあふれる都市高知を目指して次のことを宣言します。

1. 共生と安心の環

将来、さらに少子高齢化や過疎化が進むことが予想される中で、私たち中学生も地域の活性化や異なる年齢や性別を超えた、人と人が支え合うまちづくりのために、自ら行動を起こし活動に取り組むことが重要になります。互いを尊重し、助けあうために学校や地域、行政といった枠を超え、それぞれの地域がひとつになり、よりよい高知市になるよう努力していきます。

2. 育みの環

学校や地域の課題解決のために、調査や学習を行い、課題解決に向けて、何が必要かを地域ともに考え、地域と連携・協働して、課題解決に向かって取り組みます。

また、課題解決のための活動を通して、多様な人々とコミュニケーションをとる力、新たな社会の担い手として、新しい世界を切り拓いていく力を身に付けていきます。

3. 地産とまちの環

高知市の、森・里・海の豊かな自然環境、そこで育まれた特産品、高知市を愛する地域の人々。そのすべてが地域や産業を活性化する原動力となっています。私たち若者は農林漁業、観光業、工業、商業の振興を担う一員として中山間地域、田園地域、都市部のそれぞれの特性を学び、自然と町が調和する都市空間を創出します。また、安全で快適な街のために、防災学習やクリーンな地域づくりについて学び、行動を起こします。

4. 自立の環

高知市には伝統的な文化や豊かな自然のほかにも、名所や温かなおもてなしの心などまだまだ知られていない財産がたくさんあります。この財産を持続的に発展させるために、私たち若者が後世へ受け継いでいくとともに、地域の多様な人々や、観光などに訪れた県外の人々、そして世界の人々の交流を深め、「高知に行きたい」「高知で住みたい」という思いを引き出します。

今回のこうち志議会を通して、地域活性化には学生と市政とのつながりが必要であることを痛感しました。学生の新たな発想や地域を守りたいという思いと、執行部の皆様の豊富な知識と技術で思いを形にすることが高知の持続的な発展への一歩になると感じました。

また、高知市の未来を作っているのは執行部の皆様だけではなく「こんな高知市にしたい」という思いを持った私たち自身であることを実感しました。

この経験は私たちに18歳を迎えた時、自分の意思を選挙で表示することに高知市の一員としての責任があることを改めて気づかせてくれました。市政との連携や選挙を通して、さらに輝く高知の街づくりに私たちが参加していくことをここに宣言します。

令和6年8月22日

令和6年度こうち志議会議員一同